

第74期第3回男女共同参画推進委員会議事録

日 時：2019年2月12日（火）15:00～17:45

場 所：日本物理学会 大会議室（東京都文京区湯島2-31-22 湯島アーバンビル 4階）

出席：野尻（委員長）、遠山（副委員長）、市川、糸井、佐野、曹、
福島、藤井（以上委員）

笹尾、鹿野、野中（次期委員長予定者）（以上オブザーバー）

テレビ会議出席：佐野、藤原

根岸、宮野、山口、岡村（事務局）

欠席：青柳、高安、永廣、中本、細越、間宮、山本

配布資料：

1. 前回議事録
2. 次期委員案、規則
3. 学会関係
 - 3-1. ランチョンミーティング
 - 3-3. 託児室報告、ホームページ
4. 中高生夏の学校及び関西科学塾
 - 4-1. NPO 基本情報、入会依頼書、事業計画書
5. 連絡会関係
 - 5-1-1. 第17期学協会幹事タイムスケジュール
 - 5-1-2. シンポジウム
 - 5-2. 声明文・回答書一覧
 - 5-4. 第4回大規模アンケート報告書 英文抄訳 WG
 - 5-7. 新規オブザーバー案件
6. IUPAP 寄付金の支払いについて

会議に先立ち、次期委員長に就任予定の野中先生がオブザーバーとして出席されたので自己紹介をいただいた。

【議題】

1. 前回議事案の確認

委員会終了までに各自で確認し、変更点無しとし承認された。

2. 4月からの委員について

通常の委員数は10名程度であるが、学協会連絡会の幹事学会担当を考慮して計15名で進めること、また前回委員会では男性委員の任期は1期2年を前提に検討したが、正しくは男女問わず1期2年で重任可（通算4年まで）であったため、これを基に4月からの委員を諮りたい旨が説明され、承認された。

再任委員：中本、糸井、佐野、曹、市川、野尻、遠山、山本、細越、福島、藤原、藤井

新任：野中千穂（名古屋大学）、門信一郎（京都大学）、比連崎悟（奈良女子大学）

退任：青柳、高安、永廣、間宮

オブザーバー：笹尾、板倉、鹿野

確認事項：野尻、遠山、山本、福島の4名は来年3月末で退任予定

3-1. 来年春のランチョンミーティングについて

資料に沿って第74回年次大会で開催されるランチョンミーティングの報告があった。

・タイトル：「物理学分野での女性研究者増加に必要な取り組みとは？～九州大学の事例を踏まえて～」

・日時：3月14日（木）12：30～13：30

・会場：K211 収容人数103名

・弁当用意：40名

・内容

タイトルと講師：

・九大の取り組み 上瀧恵理子氏（九州大学男女共同参画推進室）

・大阪市立大学の取り組み 藤原委員

・パネルディスカッションパネラー：

上瀧恵理子氏、他2名が未確定

・司会：藤原委員

・ポスター：2月中旬を目途に5枚を作成、前日からポスター会場・総合受付に掲示する。他に活動報告に幹事会であることを追加してポスターを作成する。

・広報：委員よりメインの領域にメーリングリストで案内する。

なお、今後について、講演内容を「研究」と「個人の課題（男女共同参画の課題）」の両方を話していただくようにする方が、講師への依頼もしやすくなるのではないかと、この意見が出された。

3-3. 物理学会の託児室について

資料に沿って第74回年次大会託児室について報告があった。

開設：2019年3月14日（木）～3月17日（日）

時間 8：45～18：00（最終日は16：00まで）

場所：九州大学伊都キャンパス

業者：株式会社アピカル

託児室担当：市川、糸井、稲垣、野尻、山口

託児室受付締切：3月1日（金）16：00 2月12日現在2件の申込あり。

2020年秋季大会についても、引き続き、糸井委員、市川委員が託児室担当となることが決定された。なお、会期中に本委員会委員の託児室視察が推奨された。

4. 夏学について

山本委員を中心として進められていた女子中高生夏の学校が2019年からNPO法人化

されたことが報告された。日本物理学会は賛助会員として支援することとなった。

5.学協会連絡会関係

5-1-1.今後の予定についてタイムスケジュール表で確認をした。

<学協会連絡会運営委員会>

- ・第17期第2回運営委員会 3月27日(水) 15:00-17:00 東大駒場数理研究科講義棟にて開催。各種WG開催の場所を確保する。
- ・第17期第3回運営委員会 8月27-30日 福島委員が場所と日程を確認する。

<今後のタスク・責任者>

第17期シンポジウムは10月12日(土) お茶大で開催が確定した。

- ・シンポジウムテーマ:藤井委員・鹿野委員
- ・シンポジウム講演・来賓依頼:野尻委員長・遠山副委員長
- ・シンポジウムのポスター作成:鹿野委員(外注)
- ・シンポジウムアルバイト確保:曹委員
- ・ポスター会場資料調達:曹委員手配・準備
- ・懇親会手配:お茶大生協で曹委員依頼、会計は糸井委員
- ・シンポジウム記録:前半部分は次期幹事学会、後半部分は次々期幹事学会、総まとめと依頼を遠山副委員長が担当する。

5-1-2.第17期シンポジウムについて

資料にもとづいて講師・テーマについて意見交換がされた。

- ・全体テーマ:「科学・技術分野の次世代育成と環境づくり」とする。
- ・スタート挨拶として野尻委員長が主旨説明をする。会長の日程確保が必要。
- ・第2回運営委員会において日程・テーマ・主旨を提案することを確認した。
- ・今後は、メールまたはSlackで意見交換をする。

5-2.声明文・要望書について

- ・2月12日現在で要望書の賛同が2/3を超えたことが報告された。
- ・資料に沿って、要望書の回答状況を説明した。要望書案に賛同しつつも、大学の自主性を尊重したいという意見が複数寄せられており、共通項を探す努力が必要である旨の報告があった。

5-4.英訳WGについて

- ・進捗について資料を各自参照する。

5-5,5-6.新ワーキンググループ設立について

- ・学協会連絡会立上げ時のまとめのワーキンググループが設立され、笹尾オブザーバーが委員となった。
- ・第1回学協会連絡会に置いて、「運営検討ワーキンググループ」の設立が認められたことが報告された。

5-7.新規オブザーバー案件についての意見交換

環境ホルモン学会がオブザーバー加盟を希望しているが、会員の資格要件のうち「学術研究論文発表のための刊行物を年1回以上刊行していること」に疑義がある

ことが説明され、第 17 期幹事学会内でアンケート方式によるメール審議を行うこととなった。

6.IUPAP-WIP への協賛金について

2020 年 7 月 19 日-23 日オーストラリアで開催の協賛金について報告され承認された。

以上